

プラスチック油化ケミカルリサイクル事業の信頼性の高いサプライチェーン構築に向けて サーキュライズ社の「製品トレーサビリティプラットフォーム」を導入

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：筑本 学、以下「当社」）は、サステナブル素材の社会実装に向けた取り組みの一環として、2025年度中の商業化を予定しているプラスチック油化ケミカルリサイクル事業（以下「本事業」）において、信頼性の高いサプライチェーンを構築するため、Circularise Japan 株式会社（以下「サーキュライズ社」）のマスバランスクレジット管理業務の一元化・簡素化を実現する「製品トレーサビリティプラットフォーム」を導入することを決定しました。

当社は現在、サステナブル素材の社会実装を積極的に推進しています。今後、さらなる原料の多様化やケミカルリサイクル設備の大型化が想定されることに加え、国際持続可能性カーボン認証「ISCC PLUS 認証」など国際基準への適合も求められる中、製品に使われる原料の由来や環境価値を、信頼性のある形で社会やお客様に伝えていくことが重要であると考えています。

このような背景のもと、当社はサーキュライズ社が提供するマスバランスクレジット管理業務の一元化・簡素化を実現する「製品トレーサビリティプラットフォーム」を本事業において導入することを決定しました。本システムにより、原料の由来や数量に関する情報を社内で正確に管理するだけでなく、製品に関する環境価値の根拠をお客様にわかりやすく提供できる体制を整えます。

当社は、茨城事業所（茨城県神栖市）に設置したケミカルリサイクル設備において、2025年7月にISCC PLUS 認証を取得しました。今後は本システムの導入を通じて原料や製品のトレーサビリティを強化し、2025年度中にケミカルリサイクル油化設備の商業運転開始およびマスバランスクレジット管理業務の一元化・簡素化を実現する「製品トレーサビリティプラットフォーム」を導入することを決定しました。本システムにより、原料の由来や数量に関する情報を社内で正確に管理するだけでなく、製品に関する環境価値の根拠をお客様にわかりやすく提供できる体制を整えます。

※マスバランスクレジットとは、複数の原料（例：石油由来原料と廃プラスチック由来のリサイクル原料）を混合して製品を製造する際に、使用した特定の原料（例：リサイクル原料）の割合を任意の製品へ割当てることです。

■サーキュライズ社について

サーキュライズ社は、2016年にオランダで設立された、製品トレーサビリティに特化したプラットフォーム開発企業で、企業のレジリエンス向上、排出量削減、新たなビジネス価値の創出を支援しています。原料レベルから最終製品に至るまで、全体を通してデータを収集・可視化する、安全な製品トレーサビリティを実現しています。

日本での事業展開を本格化するため、2025年1月に日本法人「Circularise Japan 株式会社」を設立し、国内企業の欧州規制への遵守や認証プロセスの自動化を支援しています。

URL：<https://www.circularise.com/jp>

■ご参考

・2025年7月3日付リリース

ENEOS と三菱ケミカル、プラスチック油化の開始に向けてケミカルリサイクル設備を竣工

https://www.mcgc.com/news_release/pdf/02376/02642.pdf

お問合せ先

三菱ケミカル株式会社

コーポレートコミュニケーション部 メディアリレーションズグループ

TEL：03-6748-7140

以上